

21 世紀の生命を育む

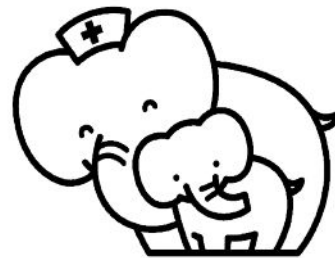
はしもと小児科

〒954-0112 見附市上新田町 449-7

TEL 0258-61-2400, 予約専用 61-2401, FAX 61-2402

<http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

院長 橋本尚士:新潟大学医学博士,日本小児科学会認定小児科専門医,日本アレルギー学会認定アレルギー専門医



DT 二種混合(ジフテリア・破傷風)ワクチン

を受ける前にお読みください。

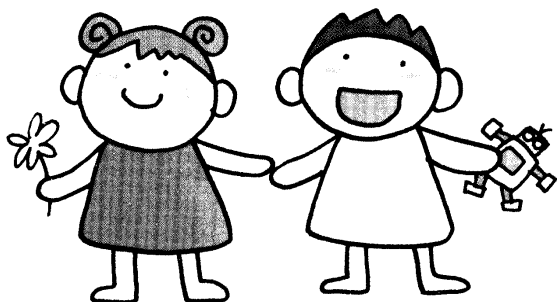
自然感染したとき

ジフテリア

- ジフテリア菌の飛沫(ひまつ)感染によって起ります。感染は主に咽頭ですが、鼻にも感染します。
- ジフテリア菌が感染すると、10%の人に症状が発現します。残りの90%の人は感染しても発病せずに(=不顕性感染)、保菌者となってジフテリア菌を排出し、他の人に感染させます。
- 症状は高熱、のどの痛み、犬吠様の咳、嘔吐などで、のどに偽膜(ぎまく)を形成して窒息死することがある恐ろしい病気です。
- 発病 2-3 週間後には菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺(まひ)を起こすことがあるので、注意が必要です。

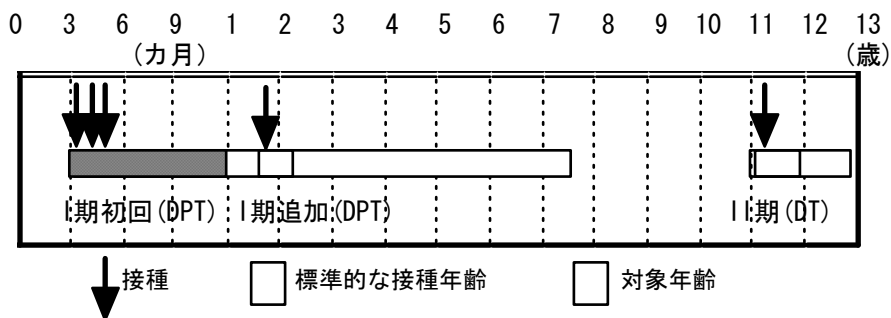
破傷風

- 破傷風はヒトからヒトへ感染するのではなく、破傷風菌が土の中にひそんでいて、傷口からヒトの体内に入って感染します。体内に入った破傷風菌が増殖すると、菌が産生する毒素のために口が開けられない、けいれん、呼吸が出来なくなるなどの症状が起こって、死亡することがあります。
- 自分では気がつかない程度の軽い傷から感染します。
- 日本中どこにでも土の中に破傷風菌がいますので、常に感染する機会があります。



2種混合ワクチンの受け方

3種混合(DPT)ワクチンに引き続き、11-12歳(小学校6年生)で2種混合(DT)ワクチンの接種を受けます。



2種混合ワクチンの副反応

○37.5℃以上の発熱が0-5%のお子さんが発熱しますが、1-2日で下がります。発熱した場合には解熱剤の坐薬を使用して差し支えありません。

○接種部位の発赤、腫脹、硬結などが0-8.8%のお子さんに認められますが、2-3日で消失します。

○硬結(しこり)が残ることがありますが、少しずつ小さくなり、数カ月で自然に消失します。様子を見て下さい。

接種を受けた後の注意

○接種当日はいつも通りの生活でかまいませんが、激しい運動は避けて下さい。入浴は差し支えありません。

○接種した部位は揉まないで下さい。押さえるだけで十分です。わざとこするのはやめましょう。

○2種混合ワクチン接種後は、1週間は他のワクチンを接種できません。

病気の後の予防接種までの期間

○麻疹の治癒後4週間、風疹・水痘・おたふくかぜの治癒後2-4週間、突発性発疹・手足口病・伝染性紅斑などの治癒後1-2週間程度は、予防接種を受けない方がよいでしょう。ただし、疾病流行期はこの限りではありません。

○上記疾患以外で高熱が出た場合には、1週間は予防接種を受けない方がよいでしょう。

